# 平成29年度夏休みおすすめ図書

| 書　名 | 著者名 | 出版社 | 書評 |
|---|---|---|---|
| 明治という国家 | 司馬遼太郎 | NHKブックス | 若い人たちが一度は手にする「龍馬がゆく」。司馬ファンから『最高傑作』と評される「坂の上の雲」。愛知県人なら郷土の偉人が活躍する「太閤記」「国盗り物語」。けれど、春日井高生には、日本と日本人の本質を考えさせてくれて、おまけに日本史の受験勉強にもかなり役立つこの本。エッセイ集です。 |
| 韓非子 | 西野広祥　市川宏(翻訳) | 岩波文庫 | 中国戦国時代の法家である韓非の著書。春秋、戦国時代の思想、社会の集大成と分析。 |
| 戦争と平和 | トルストイ　工藤精一郎(訳) | 新潮文庫 | 19世紀初頭、ナポレオンのロシア侵攻という歴史的大事件に際して発揮されたロシア人の民族性を、貴族社会と民衆のありさまを余すところなく描きつくすことを通して謳いあげた一大叙事詩。 |
| 思考の整理学 | 外山滋比古 | ちくま文庫 | ”高校生のうちに絶対読むべき一冊！” 本書は高校から大学、さらにその先で求められる「学び」の姿勢について、読者に大切な何かを与えてくれる。本書の初版は1986年。その内容が今なお多くの人々に支持され、2008年には東大・京大で一番読まれた本の栄誉に輝いたのも当然の結果かもしれない。本書に触れることで、君たちが「考えること・学ぶこと」の持つ本当の価値を是非理解して欲しい。 |
| 嫌われる勇気 | 岸見一郎 | ダイヤモンド社 | あなたは自分のことが好きですか？ 「嫌いです」と答えた人は必読書。私なんか魅力ないし、誰も好きになってくれないから人と関わらないようにしているとか。生きる喜びや幸せは対人関係の中に入っていかなければ得ることはできません。勇気をもつのです。 |
| 錦繍 | 宮本輝 | 新潮文庫 | 別れた夫婦が手紙を通して心を通い合わせる、繊細で豊かな感性と表現力がタイトルの錦秋のように美しい作品です。人生、辛いことの方が多くて楽しいことってあまりないけれど、とにかく頑張って努力していれば明るい方に向かっていけるような気持ちになれる本です。 |
| 7つの習慣 | スティーブン・R・ゴヴィー | キングベアー出版 | 女手一つで苦労して会社を設立し成功を収めた教え子から勧められた本です。 |
| 空飛ぶタイヤ | 池井戸潤 | 実業之日本社文庫 | 半沢直樹シリーズや下町ロケットなど、ドラマ化された作品の多い池井戸潤の著書。大手自動車会社の事件をモデルとした経済小説である。不正に敢然と立ち向かい、苦しみながらも自分の信じた生き方をぶれることなく貫き通す主人公の姿は感動的である。仕事は誰のために行うものかを改めて考えさせてくれる作品である。 |
| 大河の一滴 | 五木寛之 | 幻冬舎 | 人の生は大河の一滴 |
| ブラック・ジャック | 手塚　治虫 | 秋田書店 | この空と海と大自然の美しさのわからないやつは、生きる値打ちなどない。 |
| 自分をえらんで生まれてきたよ | いんやく　りお | サンマーク出版 | 「生まれてきてくれて　ありがとう」がいっぱい感じられる本です。命の大切さを感じることができます。 |
| こどもたちの遺書 | 詩・谷川俊太郎 | 佼成出版 | 写真をながめ、詩を詠むことでなんだか心が癒やされます。ふと、自分のアルバムを開きたくなるような本です。 |
| 海嶺 | 三浦綾子 | 角川文庫 | 皆さんは自分が会いたい人そして帰りたい家から突然離れ、そして二度と戻れなくなったとしたらどんな悲しい思いになると思いますか。この物語の主人公である音吉（乙吉）は江戸時代の愛知県知多半島に実在した人物です。炊事係の音吉を乗せた千石船が嵐に遭遇し、漂流生活の中で次々と他の乗組員が倒れていく中で、たった3人となった仲間と共に未知で言語の通じない異国の岸に漂着し音吉たちの苦闘が始まります。読みやすい作品なので是非読んでもらいたい一冊です。 |
| 逆説の日本史 | 井沢元彦 | 小学館 | 日本史を一通り教科書で勉強したら、是非読むことを薦める。宗教観に根ざした歴史の見方や考え方に気づかせてくれる良書。 |
| 頭の体操 | 多湖輝 | 光文社 | レイトン教授の監修でも有名な多湖輝の本。数十年前から売れ続ける息の長い本。教科書からだけでは得られない発想力や想像力が鍛えられます。 |
| 博士の愛した数式 | 小川洋子 | 新潮社 | 記憶が80分しか持たない数学者と、その家政婦、息子が交流を重ねていくストーリーです。難しい数学の話題などはなく、読み物として楽しめます。映画化もされた作品です。 |
| 一瞬の風になれ（全3巻） | 佐藤多佳子 | 講談社 | たったコンマ1秒、2秒の差を争う、短距離走の世界。そこに青春を捧げた少年たちの物語。私は運動が不得意ですが、この本は走ることの爽快感を教えてくれました。 |
| レ ミゼラブル | ヴィクトル・ユゴー | 角川文庫　新潮文庫　岩波文庫など | いろいろな翻訳が出ているので、読みやすそうなものを選ぶことをお勧めします。あのクライマックスは、やはり感動です。 |
| 悪霊 | ドストエフスキー | 各文庫 | 人の結びつきを強固にするものは「恐怖」なのか？混乱は人為的に起こせるもので、そこに乗じることで政治的主導権を確保していく。今につながる集団支配方法と思想の生み出すどす黒いエネルギーについて考えてみる。 |
| 緑の家 | マリオ・バルガス・リョサ | 岩波文庫 | 南米大陸のある土地に立つ「緑の家」。五つの話が絡まりながら展開をするさまは、ジャングルを覆っていく蔦のようである。 |
| きみの友だち | 重松清 | 新潮文庫 | 物語の舞台は学校の教室や通学路、あるいはジャングルジムのある公園など・・・。どこか懐かしさを感じる場所である。そこで、登場人物たちは叫ぶ。「わたしも入れてよ！友だちでしょ！」「○○さんは、友だちは多いほどいいって思ってる人でしょ？」「ねえ、友だちって何なの？」みなさんも、この本の住人たちと一緒に「友だち」について考えてみませんか？ |
| 砂漠の国に砂を売れ | 石川憲二 | KADOKAWA | コンクリートジャングルという言葉がある。林立する高層ビル群。繁栄する大都会。その材料としてコンクリートは欠かせない。今，そのコンクリートの原料である砂や砂利が不足しつつある。「え，それは有り得ないだろう！」と思ったことだろう。ならば，是非本書を読んでいただきたい。現代社会の隠れた脅威と新たな可能性が，そこにある。 |
| やっぱりおおかみ | 佐々木マキ | 福音館書店 | ひとりぼっちのおおかみは、仲間を求めて、ぶたの町、うさぎの町、とさまよいますが、どこへ行っても仲間はいません……。対象は3才～となっていますが、大人の鑑賞に耐えうる絵本。テーマは「自分探し」といったところかな。読後は壮快な気分になれると思います。 |
| 李陵・山月記 弟子・名人伝 | 中島　敦 | 角川文庫 | 珠玉の小品を集めた文庫ですが、中でも『弟子』が好きです。冒頭の、孔子とその弟子となる子路の出会いの場面は、私の前任校での離任式でも紹介しました。 |
| A あたりまえのことを B ばかになって C ちゃんとやる。 | 小宮　一慶 | サンマーク出版 | 経営コンサルタントの書いた、成功する秘訣。分かり易く具体的に、やるべきことが見えてきます。 |
| 鬼平犯科帳 | 池波　正太郎 | 文藝春秋 | 数年前に担任した女の子が「おもしろい」と言っていた。ふと、思い出して読んでみた。気がつくと、池波作品のほとんどを、読んでしまった。本を読むと言うより、ひとりの作家の世界に引き込まれていく感じでした。 |
| 僕たちの戦争 | 荻原　浩 | 双葉文庫 | ”今時の若者”フリーターの健太と”戦時中の若者”日本兵の吾一が入れ替わってしまう物語。面白くて笑ってしまう場面もありながら、健太と吾一に戦争と平和について考えさせられる。とても読みやすく引き込まれる。森山未來が主演し特別ドラマにもなった作品。 |
| WHAT IF？ ホワット・イフ？野球のボールを光速で投げたらどうなるか | ランドール・マンロー　他 | 早川書房 | 「どのくらい高い空から落とせば、その熱でステーキが焼けますか？」「元素周期表を現物のキューブを積んで作ったら何が起こる？」「お茶を必死にかき回したら沸騰させられるかな？」元NASAの研究者が、読者から寄せられた突拍子もない質問に全力で答える本。 |
| 遠い太鼓 | 村上春樹 | 講談社 | 小説家、村上春樹。彼のエッセイも秀逸です。村上ワールドを覗いてみませんか。 |
| やった | 坂本達 | 三起商行株式会社 | 4年3ヶ月も有給休暇をもらって世界1周5万5，000キロを自転車で走った著者。その情熱を相手に伝える術と実行に移せる行動力に魅了されます。また、旅先で出会う人々や自然との関わりに驚きと感動を覚えます。 |
| ほった | 坂本達 | 三起商行株式会社 | 4年3ヶ月も有給休暇をもらって世界1周5万5，000キロを自転車で走った著者。その情熱を相手に伝える術と実行に移せる行動力に魅了されます。旅先で助けられた人々への恩返しに井戸を掘る著者。彼の行動に感化され変わっていく周りの人々。人は一人で生きているのではないことを再確認できる実話です。 |
| 方法序説 | ルネ・デカルト | ちくま学芸文庫 | 私は本当に存在するのか、今生きているこの現実は夢ではないのか。誰もが寝る前に一度は考えて、そして分からないから考えるのをやめる問題じゃないかと思います。この本はそんな問題に対して、果てしない思索の末ある結論を導き出します。論述を捉えきった際の快感と感動は病みつきになりますよ。ぜひ一読してみては？ |
| ちゃれんじ? | 東野 圭吾 | 角川文庫 | ミステリー作家で有名な東野圭吾がいろいろなことにチェレンジする内容です。ふだんとは、違う感じのユーモアもあり、作家の人物像を考えながら読んでください。 |
| 理系アナ桝太一の生物部な毎日 | 桝太一 | 岩波書店 | 日本テレビアナウンサー、桝太一さんの熱いエピソード満載の青春記です。理系魂で数々の壁に立ち向かっていく姿が描かれています。夢中になれる何かを探してみたくなるかも。 |
| タテ書きはことばの景色をつくる | 熊谷高幸 | 新曜社 | タテ書きとヨコ書きの何が違う？それぞれの特性は何？パソコンやスマホの普及によって、多くの日本人はヨコ書きの文章を読むようになった。論文や報告書もヨコ書きである。たいていの生徒は、国語以外の授業はヨコ書きでノートをとる。しかし、新聞や書籍などタテ書きの文化は根強く残っている。本書を読めば、新たな発見があるはずです。 |
| 現代語訳　武士道 | 新渡戸稲造　山本博文 | ちくま新書 | 外国人の疑問ー日本人は、宗教なしに道徳をどう学ぶのか。私たちの道徳観を支えている「武士道」の源泉を、神道、仏教、儒教のなかに探る。「日本人の心」とはいったい何なのか？是非本書を読んで、考えてみて下さい。 |
| 罪と罰（上・下） | ドストエフスキー | 新潮文庫 | 「選ばれた人間が、人類のより大きな幸福のために人を殺すことは許されるのか？」との問いに取りつかれた主人公がとった行動と、彼の心の変遷を通じて、人間の自意識や他者との関わり、世界（神を含む）の認識の仕方について突き詰めた作品。文学史上に輝く傑作。 |
| 世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド（上・下） | 村上春樹 | 新潮文庫 | 閉ざされた街の中で、一角獣の頭骨から夢を読んで暮らす〈僕〉が主人公の「世界の終り」と、自分の意識の核を使い、依頼された情報を変換する計算士である〈私〉が主人公の「ハードボイルド・ワンダーランド」という二つのパートから構成されている小説です。不完全な自分、或いは世界を「生きる」ことへの愛着の様なものを感じさせてくれる作品です。 |
| 坊っちゃん | 夏目漱石 | 新潮文庫 | 漱石自身がモデルであるといわれている主人公の心の声に、思わず笑ってしまいます。誰かと一緒にその面白さを共有しながら読むと、より一層楽しめます。気軽に手にとれる、読みやすい本です。 |
| 天国への百マイル | 浅田次郎 | 朝日文庫 | 母の命を救うために奔走する息子の物語。だいぶ昔に読んだのですが、感動したことは今でもはっきり覚えています。 |
| 読書力 | 齋藤学 | 岩波新書 | 本を読むことの意味は何？案外答えにくい問いに「読書によって・・・の力がつく」という形で答え、コミュニケーションの力、人間を理解する力との関わりを示します。自分をつくり、鍛え、広げることが、読書とどう結びついているかを述べて、あらためて読書の本質を見つめます。 |
| 深夜特急（全6巻） | 沢木耕太郎 | 新潮文庫 | 1970年代、20代の筆者による、インドからイギリスまでの乗り合いバスの旅の記録。人と世界を見る目を養う、「二十代に送る旅のレッスン」（単行本の帯の言葉）。 |
| 僕は、そして僕たちはどう生きるか | 梨木香歩 | 岩波現代文庫 | 14歳の「僕」のある一日を描いた小説。小説の作法としては掟破りの部分もあるが、人間の尊厳、誠意のある生き方について考えさせられる。 |
| 項羽と劉邦（上、中、下） | 司馬遼太郎 | 新潮社 | 中国史が好きなひとなら一気に読めてしまうとおもいます。 |
| 孤高の人（上、下） | 新田次郎 | 新潮社 | 新田次郎の山岳小説の代表作の1つです。人間臭いところがおもしろいです。 |
| 脳と仮想 | 茂木健一郎 | 新潮文庫 | 今、売れっ子作家（？）となっている脳科学者の小林秀雄賞をとった有名な作品です。 |
| 魂の言葉ー最後のロッカールームー | 高林祐志 | 世界文化社 | 高校サッカー最後の高校選手権が終わった選手たちに、監督がかける最後の言葉です。三年間の思いがあふれています。 |
| 二重らせん | ジェームス・D・ワトソン | 講談社文庫 | DNAの「二重らせん」構造を発見しノーベル賞を受賞されたワトソンによる回想記。科学者の世界を知ることができる貴重な一冊。 |
| アヒルと鴨のコインロッカー | 伊坂幸太郎 | 東京創元社 | 2年前の事件と現在起きている出来事が徐々に繋がっていく。繋がったときの感動が忘れられません。普段味わうことのないドキドキを感じることができ、とても面白い本になっています。 |
| 小さいことにくよくよするな！ | リチャード・カールソン | サンマーク出版 | 心の持ちようひとつで物事に対する感じ方・捉え方は変わるもの。ごくごく普通の毎日が、ちょっぴり元気、なんだか前向き、ほんのりハッピーになるサプリ本です。 |
| 吉田松陰の名言100 | 野中根太郎 | アイバス出版 | 「物事を成し遂げるために必要な3つの大切なことがある。1つ目は才能。人それぞれに向いた才能があり、その面を伸ばして役に立つのだ。2つ目は知識・技術。これを身に付けるために毎日勉強に励まなければならない。3つ目は志の高さ。人は気で作られている。この気を率いて高め、充実させるのが志なのである。」そして、「人は志と仲間で成長する」んです。気付かされ、もう一歩進みたくなります。 |
| ゾウの時間ネズミの時間 | 本川達雄 | 中公新書 | 動物のサイズから、寿命、行動、いろんなことを知る、わかりやすく書かれてある。 |
| 青春を山に賭けて | 植村直巳 | 文春文庫 | 何をやってもだめなコンプレックスの固まりが、夢に向けてひたむきに進む姿が感動を呼ぶ。 |
| 空色勾玉 | 荻原規子 | 徳間文庫 | 勾玉三部作の最初の本です。何より情景描写が素晴らしく、ファンタジー好きにはたまらない作品。「白鳥異伝」「薄紅天女」もぜひ。 |
| 数学ガール | 結城浩 | ソフトバンククリエイティブ | 高校数学の先の世界がどのように拡がっていくのか。大学で数学を学びたい人はもちろん、高校までの数学に興味が持てない人にもお薦めです。数学的に難しいところは、飛ばして読むようにしましょう。 |
| あきらめない限り、夢は続く | 田尻賢誉 | 新潮文庫 | 中学生で難病「ベーチェット病」に襲われた野球少年が、壮絶な治療と入退院を繰り返しながらも、甲子園のマウンドに立ち、明治大学へ進み、読売巨人軍へ入団するまでの記録です。生半可な気持ちで「夢をあきらめない」などと言ってはいけないと思わされます。 |
| 「一生懸命」 木村拓也 決してあなたを忘れない | 木村由美子 | 中央公論新社 | プロ野球選手として読売巨人軍に在籍し、コーチとなったその年に37歳の若さで急逝した木村拓也氏の生前の姿を、その妻である木村由美子さんが書き残したもの。「努力する天才」と言われた木村氏の生き様は、私たちに大切なことは何かを教えてくれます。 |
| 農で起業する | 杉山経昌 | 築地書館 | 著者は外資系企業の元部長。50歳のとき、胃に穴のあくサラリーマンから専業農家へ転身。経営管理を徹底し、週休四日の理想のライフスタイルを達成。でも、フツーの人にはできないかもね。 |
| 常識を疑うことから始めよう | ひすいこたろう | サンクチュアリ出版 | ピンク色、日本ではちょっとエッチな色ですね。でも国によって違うんです。アメリカではブルーになります。だから下ネタはブルージョーク、スペインでは緑色、だから緑の老人＝エロじじい。思考が凝り固まったなと感じたらぜひどうぞ。 |
| 揚令伝（全15巻） | 北方謙三 | 集英社文庫 | 「水滸伝」の続編。リーダーになるべくして生れてきた楊令が、官軍に敗れた梁山泊の意思を受け継いで理想の国づくりのために戦う姿は、男のロマンを感じさせてくれる。長編ではあるが読み応えのある作品である。 |
| ギリシャ神話を知っていますか | 阿刀田　高 | 新潮文庫 | 他に「旧約聖書を知っていますか」「コーランを知っていますか」等、いろいろな古書について、ユーモアやエピソードを交えて説明してくれるシリーズの一冊である。この本を読むと、ギリシャの神々が非常に人間的で、身近に感じられる。人類最古の小説、ギリシャ神話やオデッセイアに挑みたくなる一冊。 |
| こころ | 夏目漱石 | 新潮文庫など | 夏目漱石はコアなファンが多く、あまり知ったかぶりなことを書くのは怖いのですが、私にとっての「こころ」は一言で言って「素敵♡」。イントロの部分が夏なので夏休みに、ごろん、と横になったときにまず手に取るのがこの本です。また夏休み前になるとほとんど毎年違ったデザインの文庫が発売されてつい、持ってるのに買ってしまいます。毎年「素敵」と思うシーンが違うのですが、「先生」との出会いのシーンはBoy meets girl みたいで好きです。 |
| 図書館の魔女 | 高田大介 | 講談社 | すみのすみまで面白い幻想小説です。魔法はでて来ません。「言葉」のちからに震え上がります。何十年ぶりに「仕事なんかやってる場合じゃない」と思った小説です。文庫本も発売されたが、あえて分厚いやつで読みたい。分厚い上下巻ですが上巻が終わる頃には「あーもったいない。あと半分しかない。」と思いました。作者は言語の天才だと思います。大学でまじめにラテン語やっとけばよかった。 |
| サービスできないドイツ人、主張できない日本人 | 川口マーン惠美 | 草思社 | ドイツ人と結婚してドイツ在住の日本人女性が、日本人とドイツ人の視点から2カ国の国民性をおもしろおかしく比べたもの。日本人ならではのするどい切り込みもあって、日本人である自分を見つめ直せます。 |
| おじいちゃん日本のこと教えて | 中條高徳 | 致知出版社 | アメリカで暮らす孫娘からの質問状に、戦争を体験した祖父が自らの経験をもとにわかりやすく語ったもの。歴史をきちんと学ぼうという気にさせてくれます。 |
| 三四郎 | 夏目漱石 | 青空文庫 | 上京した主人公が人との出会いを通して成長していく話です。恋愛に悩む高校生にお薦め。日本の近代化の様子もよくわかります。 |
| 凍える牙 | 乃南アサ | 新潮文庫 | 女刑事、貴子。高速道路を走り抜ける。 |
| 蒲生邸事件 | 宮部みゆき | 文春文庫 | 個人的には『火車』を超えたと思う。読後に自分の50年後を想像してください。 |
| 葵の月 | 梶　よう子 | 角川文庫 | 徳川家治の継嗣・家基の毒殺にはじまり、これを阻止できなかった西丸書院番氏・坂木蒼馬の謎の出奔へとつながる・・・。脇の人物にまで及ぶ優れた人間観照。圧倒的なスピード感にぐいぐい引き込まれて止まりませんでした。書店で予約してやっと読んだ甲斐がありました。 |
| 黒いトランク | 鮎川哲也 | 東京創元社 | 日本のミステリー小説を代表する傑作！と聞いて読んでみました。噂に違わぬ面白さ！たまには本格的ミステリーもいいなぁ。 |
| 環境再生と日本経済 | 三橋　規宏 | 岩波新書2004 | 環境問題と地域起こし・地産地消など、環境問題と絡めて地域経済の復活に取り組む人々に取材し、きれい事ですまさぬ視線が新鮮さを感じさせる。この新書を熟読してノートを作っておけば、「総合政策学部」・「地域社会学部」・「環境コミュニティー学科」などの二次や推薦の小論文・総合問題の対策として大いに有用であろう。 |
| 樅ノ木は残った（上・中・下） | 山本　周五郎 | 新潮文庫 | 伊達藩家老原田甲斐。彼が命がけで守ろうとしたものに価値があるのかどうか、また、この小説の構想が歴史学の検証に耐えうるものなのか、といった疑問は脇に置く。自分や周囲を見渡してみて、何と多弁で言い訳ばかりして自己保身する大人の多いことよ。家族にすら理解されず、一言の弁解も発せず耐えに耐え抜く甲斐の生き方に男のストイシズムを感じても許されよう。 |
| ハーバードでいちばん人気の国・日本 | 佐藤　智恵 | PHP文庫 | ハーバード大学では、「日本」がお手本であるらしい。様々な日本企業の「人を動かすコツ」が取り上げられているが、読みながら、日本人ならではの謙虚さや頑固さ、優しさについても再確認させられる。自分がやったわけでもないのに、少し良い気分になる本である。 |
| 会話もメールも英語は3語で伝わります | 中山裕木子 | ダイヤモンド社 | 英語でコミュニケーションする手がかりとなるでしょう。 |
| だから、あなたも生きぬいて | 大平光代 | 講談社 | 私は美への憧れが強い。美しい景色、美しい〇〇先生。でも、それらは、2番目。この世の中で最も美しいものは努力。それを教えてくれた本。 |
| 学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶応大学に現役合格した話 | 坪田信貴 | 角川文庫 | 上記と同じだが、この本も自分を奮い立たせてくれる。読後、映画を観賞するのもいい。 |
| 新三河物語 | 宮城谷昌光 | 新潮社 | 徳川家四天王と言われるのは、井伊・榊原・酒井・本多。大久保党は四天王には入らないのだが、徳川家の興隆のため、文字通り命を懸けて徳川家に尽した。三河武士の心意気、武士の生き様が切々と伝わってくる。 |
| ダンテ神曲 | 永井豪 | 講談社 | 文学史上燦然と輝く名著「神曲」のマンガ版。 恐ろしい作品です。 |
| 筋肉まるわかり大事典 | 石井直方 | ベースボールマガジン社 | 春日井高校ラグビーフットボール部フィジカルトレーニングのバイブル |
| 筋トレまるわかり大事典 | 谷本道哉 | ベースボールマガジン社 | |
| 元素周期表で世界はすべて読み解ける | 吉田たかよし | 光文社新書 | 元素周期表のルールは複雑そうに見えて非常にシンプル。そんな周期表のしくみが一から分かる入門書。量子化学の基礎や、内部被爆のメカニズム、レアアース、超新星爆発などニュースで見聞きする様々なキーワードも、周期表というアプローチで解き明かすことができます。 |
| iPS細胞とはなにか | 朝日新聞大阪本社科学医療グループ | 講談社ブルーバックス | 昨年、ノーベル医学生理学賞を受賞された山中伸弥先生の発見されたiPS細胞についての入門書。人体のどんな組織や臓器をも作り出すことができる万能細胞研究の現在の状況をうかがい知ることができる。 |
| 日本人がかならず間違える英語 | ジェームズ・バーダマン | 中経文庫 | 日本人が犯す英語の間違いには共通するパターンがあります。そこで問題なのは、ネイティブスピーカーが驚いたり、不快に思ったりするような間違った英語表現を日本人がそれと気づかず使っていること。本書ではそうした間違い100例の指摘があります。 |
| カジョリ 初等数学史 | フロリアン・カジョリ | 共立出版 | 古代の算術から近代の数学まで幅広く書かれている数学史の入門書。高校生の知識があれば十分読めます。 |
| 元素のすべてがわかる図鑑 | 若林　文高 | ナツメ社 | 全ての元素の性質や利用方法が、非常に美しい写真とともにまとめてあります。 |
| 頭のよくなる本 | ピーター・フランクル | WAVE出版 | 数学者であり大道芸人であるピーター・フランクルが書いたいわゆるパズルの本。自分が大学の時、南山大学に彼が講演に来るということで聴きにいった思い出があります。そのときに購入しました。サインも入ってました。脳を柔らかくできるかも。 |
| ヤバい統計学 | カイザー・ファング | 阪急コミュニケーションズ | 世界は数字でできている。世の中を知るには経済学よりまず統計学である。 |
| ルート66 | キャロル・オコンネル | 創元推理文庫 | 完璧な美貌の天才ハッカーである刑事が主人公の推理小説。 |
| 水滸伝 | 北方謙三 | 集英社 | 広大な中国を舞台にした戦記もの。人の名前が漢字ばかりで、読み方もわかりづらいが、非常に面白い。 |